

みんなで考えよう 老人医療費

～平成15年度の宮之城町の老人医療費は、総額で33億2,608万円～

○老人医療費の状況

宮之城町の医療費は毎年増えています。なかでも高齢者人口の増加により、老人医療費はたいへん高い傾向にあります。平成12年から介護保険制度が始まったこと。また、平成14年10月から老人保険制度の対象年齢が70歳から75歳に引き上げられるなどの制度改正があり、老人保健医療対象者は減少しています。しかし、一人当たり医療費が増加したため、総医療費はほぼ横ばいです。

	年間平均受給者数	総医療費	一人当たり医療費
平成13年度	4,069人	33億2,056万円	81万6,029円
平成14年度	4,118人	33億2,758万円	80万8,056円
平成15年度	4,019人	33億2,608万円	82万7,639円

○宮之城町国民健康保険の制度別一人当たり医療費

下の表は、宮之城町の国民健康保険加入者の年間一人当たり医療費を一般被保険者、退職被保険者等、老人保健医療受給者で比較したものです。

国保は他の医療保険と比べ、高齢の加入者が多いこともあります。医療費全体の50%以上を老人保健医療受給者が占めています。

老人医療費が、他の年代の医療費と比べても高額であることがわかります。

若い段階から日常生活の改善に取り組みましょう！

	一般被保険者	退職被保険者等	老人保健医療受給者
平成13年度	26万6,927円	34万6,931円	81万6,029円
平成14年度	26万8,649円	40万8,797円	80万8,056円
平成15年度	28万2,913円	43万4,022円	82万7,639円

◆なぜ老人医療費は増えるのでしょうか？

1. 病気やけがが増えています。

高齢になると生活習慣病と呼ばれる『高血圧症』や『心臓病』、『糖尿病』などの病気にかかる人が増えています。

2. 療養期間が長くなります。

生活習慣病などの慢性的な病気は完治することが難しく、また他の病気も併発しやすいため、通院や入院などの療養期間が長くなります。

3. 病院へのかかり方も医療費増加の一因です。

複数の医療機関をかけもちしたり、急病のとき以外の時間外、休日診療なども医療費の増加につながります。



◆上手な病院のかかり方について考えてみよう。

1. かかりつけ医を見つけましょう！

かかりつけの病院を見つけることにより、医師と患者の関係がより親密になり、いろいろな病気のことを聞きやすくなります。

2. 気になることは、かくさず医師に相談しましょう！

かかりつけの病院以外を受診したときも、かかりつけの医師にそのことを切り出せない患者さんがいます。しかし、重複した検査や投薬などの処置が変わってきますので、かかりつけの医師に他の病院への受診内容について必ず説明しましょう。

3. 病院のはしご受診はやめましょう！

これは、一番悪い病院へのかかり方です。

かかりつけ医をもつことで、医師への不信感がなくなり、病院を変えてみるなどの行為がなくなります。



みなさん一人ひとりが上手な受診で医療費を有効に使いましょう！